

水戸黄門像 (JR水戸駅北口)



違反対策係一年の「キセキ」

黄門様の時代であれば、印籠一つで全国 の違反対象物はすべて是正されただろう

茨城県水戸市消防本部火災予防課違反対策係長 大津 伸一 (都道府県違反是正支援アドバイザー)

はじめに

水戸市は、東京から約100km、関東平野の北東端に位置する茨城県の県庁所在地です。

東に民謡「磯節」で名高い、波の花散る大洗の怒涛を汲み、西に紫峰「筑波山」の秀麗を仰ぎ、県都である本市は、テレビドラマで有名な「水戸黄門」徳川光圀公、藩校「弘道館」・日本三名園の一つである梅の都「偕楽園」を築いた徳川斉昭公、そして維新の魁「大政奉還」を成し遂げた第15代将軍徳川慶喜公(斉昭公の七男)三名君のふるさととして豊富な歴史・教育遺産群を背

景に、行政、経済、文化、観光等の多岐にわたる発展性を有し、平成31年度には、「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」が開催され、平成32年4月の「中核市」への移行を目指し、将来は広域的な都市としてのさらなる拡充の時を迎え活気に満ちあふれています。

また、現在建設中の水戸市役所新庁舎(平成30年10月完成、平成31年1月4日全体オープン)に移転し、防災危機管理部局と消防本部が一体となって、水戸市の防災拠点の中心的役割を担うこととなります。

2 消防本部の組織と立入検査体制

当消防本部は、1本部、4課、2署、9出張所、職員数341名(署・出張所は2交代制)で、市民の安心安全の確保に努めております。

立入検査は、現在、火災予防課査察係(建物担当・危険物担当)5名、違反対策係5名で行っております。

管轄人口は約290,000人、防火対象物数は約10,400棟です。

3 平成29年4月1日違反対策係発足

火災予防課に係長以下5名(以下「プレイヤー」、女性職員1名を含む。)が配置され重大違反対象物の違反処理事務に特化した、「違反対策係」が発足しました。

年間目標「重大違反対象物ゼロを目指せ!!」を掲げ、管内を2つの班に分けて73件の重大設備違反対象物に対し「今までと違った姿勢で臨み、粛々と進める」との執行方針を固めました(後々、「粛々と進める」「個性あるプレイヤーそれぞれの理念」に悩まされることになるとは思ってはいませんでした)。この73件の中には違反覚知から10年以上経過している対象物が半数以上あり、市民の安心安全のために一刻も早い是正が急務でした。

このような状況下で公表制度の開始まで1年と、期間に余裕がなかったので、まずは工期にかかるスプリンクラー設備・屋内消火栓設備未設置対象物からは是正指導を行いました。上半期には、自動火災報知設備未設置対象物を含めすべての対象物の立入検査を行いました。

4 「今までと違った姿勢」「粛々と」って何だ

前記のように、10年以上経過している重大違反対象物が存在していることは、行政の不作為であり猛省すべきところです。脈々と受け継がれてきたかつての「行きっ放し」「やりっ放し」「改修計画が提出されれば良い」といった放任主義的な行政指導、そのような状況の中、警告書、命令書など、淡々と書類を積み重ねることに重きを置くのか、今まで以上に懇切丁寧な説明と、



水戸芸術館



梅の都「偕楽園」



藩校「弘道館」



筆者「俺がやらなきゃ誰がやる!!」

ありとあらゆる改善の方向性を提案して行くのか、「今までと違った姿勢」の意味、あり方についてプレイヤー達は心底悩みました。

悩みながらも数カ月が過ぎ、改修期限が迫っても一向に是正の動きがない対象物について上司に相談すると、「粛々と進めるように」との指示がありました。

規定に照らせば当たり前のことです。しかし、現に淡々と書類を積み重ねることだけでは、是正の動きがありません。これまでの行政指導が放任主義的であったためか、相手もどこか協力的でない様子が散見されました。

年度初めごろ、1人のプレイヤーが「公表対象物はゼロにできます」と平然と言いました。続けざまに「相手方が非協力的なのは、これまでの消防のやり方に問題があったからです。新しい係はできたが、市民にはそんなことは関係ありません。納得していただけるまで説明をしていくべきです。市民の安心安全と言いますが、防火対象物の関係者も市民です。消防の責任を果たすためだけの書類は出しません」と言ったのを思い出しました。

そうです、消防手帳、立入検査証は印籠ではないのです。黄門様のように葵の御紋一つで相手が平伏するなどということはあり得ないのです。説明に説明を重ね、熱意を伝える以外に、天下泰平は実現しえないのです。とは言っても、

公平性は欠くことはできない。プレイヤー達は執行方針と相手との板挟みとなってしまい時間との闘いに大いに悩みました。

基本は懇切丁寧で、行政指導の範囲内で行えるときに最大限の力を発揮し、熱意をもってそれを行うことで水戸市消防本部の名を昇華することが大事だと確信しました。消防法に基づく権力を笠に着た暴君ではなく、市民の支持を得た名君にならなければなりません。「今までと違った姿勢」とは市民に向き合い心を動かすことであり、「粛々」とは丁寧な指導にもかかわらず話を聞き入れない相手に対する権力の誇示なのです。つまり、粛々と書類を重ねざるを得ない状況というのは、市民に対する説明能力が不足していた何よりの証拠であり、立入検査のプロとしては恥ずべきことなのです。法令違反は、関係者はもとより、それを生んでしまった私たち行政機関にも責任があると思えます。

5 自分への挑戦状

昨年度、私は都道府県違反是正支援アドバイザーを拝命しました。

初仕事は、8月に開催された県違反是正推進連絡協議会での事例発表者に対する助言でした。冒頭の自己紹介で「心が動かなきゃ金は動かない」と言い放ちました。毎年、関東支部違反是正事例発表会の会場で、「ズバリ！ダメ消防、茨城県水戸！！」と対策官から言われ続けてきた「汚名を返上する！」「重大違反対象物をゼロにするのだ！」「目標を達成する！」自分へ



進捗管理表



第1期の「熱き仲間達」
(平成29年度違反是正の推進に係る実務研修【区分C】)

レッシャーをかけるとともに決意を新たにしたりと日となりました。

6 私の仕事は最低…

長年、自動火災報知設備設置義務違反が継続している割烹料理店、どう考えても設備設置を免れない対象物。以前は結婚式や法要等の客が多かったが、最近では予約が月に1、2回程度で、家族で細々と営んでいる対象物。違反の事実を説明、違反の認識を聴取し設備設置のため見積を取得する運びとなったが、一向に動きが見えてこないで訪問すると、見積の取得はなく具体的な改修の意思が示されなかったため、指導書を交付することとしました。

8月上旬、指導書交付のため訪問すると、普段より足取りの重い店主(所有者)が現れました。夏休み中であつたため、部活動から帰ってきた中学生の娘さんが冷たい麦茶を出してくれました。何とか、設備を設置していただきたいと、趣旨を説明し指導書を手渡しました。すると店主は大粒の涙を指導書に落とし、「店をたたみます…」と、心の底から絞り出すような声で話しました。それを聞いた娘さんは泣き崩れました。私たちは、深々と頭を垂れました。「閉店する」と記載、署名、捺印された改修報告書を受取り引上げました。

私たちは、自責の念に駆られました。「なぜ、もっと早く是正させられなかったのか。なぜ今まで納得していただくことができなかったのか」そして、「この家族の未来に影を落とすのはいま



「燃える集団」
(平成29年度違反是正の推進に係る実務研修【区分B】)

いか」「消防に店をやめさせられた！きっと私達を恨んでいるに違いない…」そう思えてなりませんでした。数日後店の看板は取り外され、ホームページも閉鎖されていました。

違反是正と家族の生業の終焉に喜びと憂いを感じ、責任の重さを実感した瞬間でした。

7 全国違反是正特別アドバイザーの講義

9月、平成29年度違反是正に関する実務研修【区分C】第1期、11名の同期生と共に研修を受ける機会に恵まれました。本誌に「違反是正」の寄稿をしている名立たる特別アドバイザーの方々に加え、全国津々浦々から来た素晴らしい受講者が集った最高峰の場と言っても過言ではありません。その中で、組織の中のルール作りに関することを学び、罵声や恫喝にも負けない強い心を養うことができました。

また、12月には、「平成29年度違反是正の推進に係る実務研修」【区分B】の受入れ消防本部としての役割を果たすことができました。

8 違反対策係元年を振り返って

当初73件あった重大違反対象物を、平成30年3月31日現在、2件にまで是正することができました。警告書7件を交付した対象物については、度重なる説得を経て、辛くも是正を完了することができました。「ゼロ」には僅かに届きませんでした。プレイヤー達は多大なストレスを抱えながらも、ミラクルを起こし予想を遥かに上回る成果を上げることができました。

違反是正



公表制度開始(水戸市ホームページのトップバナーから閲覧できます。)

この背景にあった警察、保健所、総務法制課、資産税課、建築指導課、高齢福祉課、介護保険課、障害福祉課等との強固な連携体制の構築、民間団体である不動産業組合、建設業組合、土地家屋調査士会、風俗店協会等との縦と横の顔の見える関係が功を奏し、消防法施行令第32条を用いることなく是正ができたのだと思います。

私自身、身をもって感じたことは「相手を知ること」「相手の心を読むこと」「キーパーソンを探すこと」であり、このことをビジネス情報誌等から学び、消防大学校で学んだ説得技法、交渉術を用いて「Yesを引き出す」ことに成功しました。

しかし、本当の戦いはこれからです。恥ずかしながら、まだまだ把握できていない対象物が山積しており、市民にいかにか予防行政を浸透させていくべきか思慮しています。納得と理解…陳腐な言葉ではありますが、極めて難しい言葉です。黄門様のような権威はありませんが、熱意を持って市民に説明するほかに、心を動かす方法はないのです。広く立入検査を実施し、長期違反対象物が発生しないような組織、体制作りが必要であると考えています。あの涙を無駄にしないためにも、努力を重ねることが我々の責任です。全ては、次に禍根を残さぬように…。

